

普及活動検討会実施報告書

気仙沼農業改良普及センター

実施月日：令和8年2月9日

実施場所：気仙沼合同庁舎 503会議室

1 検討内容

No	検討項目
1	プロ課題 No. 1 「生食用ぶどうのブランド化による生産拡大」
2	プロ課題 No. 2 「気仙沼・南三陸地域のクロマツ栽培者の育成と作付面積の拡大」

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者		学識経験者	
市町村	2	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 1 「生食用ぶどうの ブランド化による生産 拡大」	4.2	<ul style="list-style-type: none">販売拡大が鍵と思われる。協議会全体の生産量は着実に増加し発展していくと思われるため、販路の拡大や収益性の確保について今後とも支援願う。今後、生産者の増加による品質のバラツキや販路についての課題解決が必要と考える。南三陸町内全域での生産者増加を望む。また、貝殻だけでなくウニや海藻などの利用も検討願う。	<ul style="list-style-type: none">生産を始めて数年の生産者も多いため、樹齢に応じた収量向上を図るとともに、生産者の経営状況を把握し、収益の向上を検討しながら生産拡大を支援してまいります。生産量の増加に伴う販路拡大については、更なるブランド化や付加価値向上を支援してまいります。新規栽培者の掘起こしについて、関係組織と連携しながら、行ってまいります。貝殻以外の未利用資源の活用については、特性や賦存量等を含めた検討を行ってまいります。

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 2 「気仙沼・南三陸地域のクロマツ栽培者の育成と作付面積の拡大」	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗本数の確保が今後の目標と考えられる。 ・ 市場価値の低いものの出荷支援など高く評価する。 ・ 出荷段階で商品にならないことがないよう地域でもクロマツを利用できるように地域行事への働きかけも検討願う。 ・ 販売拡大が鍵と思われる。 ・ クロマツ生産がこんなに難しいと驚きであった。異常気象が加わり、困難な局面にあるが、挑戦する農家への支援には感謝する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クロマツの自家育苗では、必要量の確保に向けて播種量、覆土量、雑草対策、鳥害対策など模索の段階ですが、これまでの対策で安定生産方法が見えてきています。当地域に適した育苗方法の確立に向けて引き続き支援してまいります。 ・ クロマツの茎が太すぎる、葉の密度不足など市場出荷が困難になるケースが出てきていることから、今後も商品化率向上のための技術対策を支援してまいります。 ・ 管内の新規作付者や作付希望者への技術指導により作付拡大や定着を図りながら、引き続き南三陸パイナップロを核としたクロマツ産地形成を支援してまいります。